

管理ツール

図表 3-14 では、従業員を時間や場所の観点で管理する「勤怠管理」及び「在席管理」、業務・タスクの観点で管理する「業務管理」のためのツールを取りあげている。

スケジューラについては、各従業員の予定確認のためにいずれのテレワークでも導入することが望ましい。さらに、業務内容やシステムへの練度にあわせて、プロジェクト管理ツールや勤怠管理ツールの導入を検討する。また、プレゼンス機能についても相互の状況把握や円滑なコミュニケーションの促進のために導入を検討する。

例えば、システム開発職での在宅でのテレワークの例では、「2 在席管理(プレゼンス管理)ツール」の導入により在席状況を随時確認できるようにし、「3 業務管理ツール(グループウェア)」の面では、クラウドのプロジェクト管理ツールの利用を検討する。営業職のモバイルワークでは、「1 勤怠管理ツール」で位置情報まで把握・記録できるツール、「3 業務管理ツール(グループウェア)」でシンプルなスケジュール共有ツールの導入を検討する。

図表 3-14 管理ツール

No	ツール	概要	TW 形態	製品例
1	勤怠管理ツール	勤怠管理については、労働時間の記録のみであればグループウェア等でも対応可能。給与計算ソフトや人事管理ソフト等との連携を重視する場合には、専用ツールの導入を検討する。 営業職がいつでもどこを巡回したかを明らかにするために GPS での位置情報を記録するサービスがある。 また、作業状況を確認するために、画面キャプチャを記録して、管理者に提示するサービスがある。	業務にあわせて導入を検討する	ジョブカン勤怠管理/㈱DONUTS KING OF TIME/㈱ヒューマンテクノロジー ハーモス勤怠 by IEYASU/IEYASU(株) F-chair+/㈱テレワークマネジメント 勤労の獅子/エス・イー・エス ㈱ MITERAS 勤怠/パーソルプロセス&テクノロジー(株)
2	在席管理 (プレゼンス管理) ツール	プレゼンスソフトは、各ワーカーが在席中か否か、話しかけて良い状態か等をリアルタイムで表示する。	業務にあわせて導入を検討する。	Sococo Virtual Office/ ㈱イグアス テレワークサポーター/ キャノン IT ソリューションズ(株) Teams (Microsoft365) /日本マイクロソフト(株) Ovice/oVice(株)
3	業務管理ツール (グループウェア)	テレワーク実施にあたっての基本的な機能としてスケジュールを共有できるツールを導入することが望ましい。 さらに、研究・開発・企画等のプロジェクト単位で動いている業務でテレワークを実施する場合には、プロジェクト管理・タスク管理まで行えるツールの導入も検討する。	すべて	サイボウズ Office/サイボウズ(株) desknet' s NEO/㈱ネオジャパン NI collabo 360/ ㈱N I コンサルティング Microsoft365/日本マイクロソフト(株) Google Workspace/グーグル合同会社

勤怠管理ツール

勤怠管理ソフトについては、テレワークを実施するなかで、必要性を感じた段階で導入を検討する。

PC 作業での業務状況を把握する「MITERAS」、不定期に画面をキャプチャーする「F チェア+」といった製品もある。

また、既存の勤怠管理ツールに、テレワーク向け機能を追加したものも出てきている。

勤務時間のチェックや不払い残業防止などに向けた、新しいツールが今後多数登場することが期待できる。

図表 3-15 勤怠管理ツールの製品例

No	製品名	メーカー	特徴	価格
1	ジョブカン勤怠管理	(株)DONUTS	1~3は、クラウド型勤怠管理ツールとしてシェアが高い。働き方改革法案、36 協定支援、スマホ対応、シフト対応、申請承認、給与計算連携などの機能を持つ。	月 200 円~/ユーザ 機能制限無料プランあり
2	KING OF TIME	(株)ヒューマンテクノロジー	上記に加え、指紋・生体認証、顔認証、GPS、共用 PC でのマイページ打刻など多彩な打刻方法がある。	月 300 円~/ユーザ
3	ハーモス勤怠 by IEYASU	IEYASU(株)	低コストだが、シフト管理、申請承認などオプションとなる点に注意。	30 名以下無料 月 100 円~/ユーザ
4	F-chair+	(株)テレワークマネジメント	「着席」「退席」ボタンにより、勤務を申告。在宅勤務者が「在席」と申告している時間中、作業者のパソコンの業務画面を不定期にキャプチャーし、管理者が確認できる。在宅勤務に有効。	(月額) 1~10 名 10,000 円
5	勤労の獅子	エス・イー・エス (株)		初期費用 400,000 円~ 月 150 円/ユーザ
6	MITERAS 勤怠	パーソルプロセス&テクノロジー(株)	勤怠打刻を兼ねてコンディション・モチベーションの入力・分析が可能。PC ユーザは PC ログとの乖離アラート、現場作業ユーザはタブレットからの作業工程の登録、プロジェクト単位の工数入力などにも対応。	タイムレポート 初期 300,000 円~ 月 150 円~/ユーザ

在席管理（プレゼンス管理）ツール

プレゼンス（在席状況確認）については、Teams 等の通話コミュニケーション製品やサイボウズなどのグループウェアを利用することも可能である。

さらに、同僚がすぐ傍にいるかのように仮想空間内に人を配置し、より通常の働き方に近づけるように工夫した、仮想オフィスツールや、勤務内容を可視化することで状況を把握する業務可視化ツールがある。

それぞれ必要に応じて導入を検討する。

（なお、仮想オフィスツールは、メタバースなどの仮想空間サービスの登場にともない、進化中である）

その他、遠隔地のオフィスでの在席状況等を確認する方法として、オフィス全体を Web カメラで写し、ディスプレイに表示しつづけたままにするようなことも行われている。

図表 3-16 在席管理プレゼンス管理ツールの製品例

No	製品名	メーカー	特徴	価格
1	Teams	マイクロソフト	MS365 の一部として提供されているが単体アプリとしても導入可能。MS365 ユーザであれば、Outlook と連携したステータス表示や各種アプリとの連携が便利。	月額 500 円/ユーザー MS365 バンドル
2	Sococo Virtual Office	(株)イグアス	プレゼンス（在席状況確認）の面で優れた製品。仮想オフィスを設定し、在宅勤務者の勤務状況をわかりやすく表示する。必要に応じて、音声会議/Web 会議/文字チャット/通常電話等が行える。	月額 25,000 /10 人
3	テレワークサポーター	キャノン IT ソリューションズ(株)	テレワーカーの勤務が見える化し、“顔認証で”覗き込み”や”なりすまし”を防ぐ。勤務時間の集計・スケジュール管理・タスクの集計機能で勤務内容を可視化する。	初期費用： ¥20,000 使用料 5 ユーザ1 年間： ¥120,000
4	ovice	oVice(株)	バーチャル空間でアバターを使って在席状況や会議中などのステータスを共有できる。オンライン画面上でテレワーカー同士のコミュニケーションを活性化することが可能。	Entry-S 年払い月額 6,650 円

業務管理（グループウェア）ツール

テレワークの実施にあたって、スケジュール共有は最低限必要であり、いずれかの製品・サービスを導入する必要がある。その他、業務内容等に合わせた必要な機能を備えたグループウェアを導入する。いずれの製品も無料での試用期間があることから、実際に複数名で利用した上で導入を決定することが望ましい。

なお、システム開発会社でのテレワークでは、ソースコードのバージョン管理や円滑な協業のために、Subversion や GitHub の利用を検討する。GitHub については、月額 7 ドルからの利用が可能である。

プロジェクト管理では、オープンソースのプロジェクト管理ソフトウェアである Redmine の利用や、Microsoft Planner/Project (Microsoft365) 等の利用も検討する。

図表 3-17 業務管理（プロジェクト管理）ツールの製品例

No	製品名	メーカー	特徴	価格
1	サイボウズ Office	サイボウズ(株)	「誰でも使える」にこだわった中小企業向け国産ツール。	月額 500 円/ユーザー
2	desknet's NEO	(株)ネオジャパン	使いやすさと高機能性で、顧客満足度で高評価。官公庁にも人気。	月額 400 円/ユーザー オンプレあり
3	NI collabo 360	(株)NI コンサルティング	企業間連携を含めた 36 アプリ。勤務予定・実績管理、GPS 連動、InstaMTG などテレワーク支援機能あり。	初期費用 50,000 円 月額 328 円/ユーザー オンプレあり
4	Microsoft365	日本マイクロソフト(株)	MSOffice の共同編集などに圧倒的な強み。アプリは豊富だが一定以上の IT スキルがないと難しいものもある。	月額 750 円~/ユーザー
5	Google Workspace	グーグル合同会社	MS365 とほぼ同等のアプリあり。サテライトオフィスや rakumo など操作性向上のアドオンもある。	月額 680 円~/ユーザー